

名大の時間

精神保健福祉士の実習を終えて

興味をもち、また自分の持つ支援の幅を広げるために精神保健福祉士の資格取得を目指すようになりました。4年次になり、精神科病院と地域活動支援センターでの精神保健福祉士の実習を終え、精神保健福祉士について理解を深めることができました。

精神疾患、精神障

害は目に見えない障害ということもあり

未だ偏見も多く、支援や制度についても不十分なことが多い分野です。私自身、精神障害者の方とかわった経験が少ないため精神疾患や精神障害についてよくわからず、講義を通して精神保健福祉に関する知識は増えていくものの、なかなかイメージがつかない状態でした。

そのため、精神科病院で行われていた

だいた実習でも、精神障害者の方とどのようにコミュニケーションをとって良いのか分からないため、入院患者の方とのコミュニケーションが上手いかず、話をずっと聞いてしまつ、また自分の聞きたいことを聞けないという状況が続きました。

しかし、実習指導

者の方や担当教員の方から配慮をする必

要がある点はあるものの、必要以上に考え、気を使いすぎる必要はないのだとアドバイスをいただき、その後の実習ではコミュニケーションをとるにつつ、自分の聞きたいことを聞くことができまし

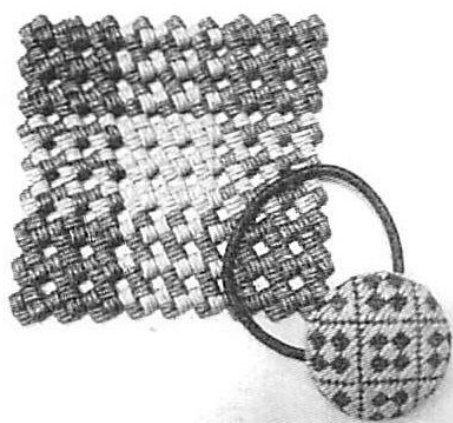
た。また、地域活動支援センターでの実習では、障害者の方とお話や創作活動を通して地域における障害者の方の居場所

の必要性と精神障害者の方の地域生活について理解を深める

機会となりました。精神保健福祉に関する大学での学びや実習を通して、社会福祉に関する学びだけでは知り得なかった知識を学び、特に精神障害について理解を深めることができました。

自分でも支援の幅が広がり、多角的な視点から考察できるようになってきたのではないかと感じています。社会福祉だけではなく、精神保健福祉の知識も活かしながら、今後社会で働いていきたいと思えます。

社会福祉学科4年
小野寺汐梨



の必要性と精神障害者の方の地域生活について理解を深める

社会福祉学科4年
小野寺汐梨